

消防防災分野において有効に活用できると認められる  
**「消防防災製品等」の推奨**

**消防防災製品等推奨品**  
 (一財)日本消防設備安全センター



一般財団法人 日本消防設備安全センターでは、平成26年2月14日付けで、長期保存ができる化学反応ライトで、下部を水分に浸すと化学反応によりLEDが点灯するものとして防災用ライトを次のとおり推奨しました。

システム・機器名	防災用ライト
システム・機器型式記号	AQUMO CANDLE(アクモキャンドル)
申請企業名	アクモホールディングス株式会社
推奨番号	推防災第 22号
推奨年月日	平成26年 2月14日
推奨の有効期限	平成30年 3月31日

**防災用ライト**



AQUMO CANDLE  
アクモホールディングス株式会社





約1ccの水で点灯



- ① 本体の底面に軽く水を浸ける
- ② 浸けると直ぐに点灯を開始
- ③ 暗くなってきたら、再度水に浸ける
- ④ 再び光量上がり、約168時間点灯する

**簡単・安全に点灯**

電気エネルギーは  
水分とマグネシウム空気電池

本製品「防災ライト」は長期保存ができる化学反応ライトで、下部を水分に浸すと化学反応によりLEDが点灯するもので、次に掲げる特長、構造・機能を有するものである。

## 1 特長

- (1) 水に浸すと明かりが灯り、長時間連続点灯する。
- (2) 災害時の生活に必要な最低限の光及び避難時の安全確保ができる。
- (3) 小型軽量の簡易ライトで電池が不要である。
- (4) 化学反応により発電し、有害物資を出さない。
- (5) 全天候で使用ができ、未使用であれば長期保存ができる。

## 2 構造・機能

- (1) 本体は、横35mm高さ65.5mm、幅16.5mmで、重量は21gである。
- (2) 内部構成はサイズ2.5mm×5mmの銅・炭素・紙・マグネシウムを1層とし直列に4回重ねた4層構造である。
- (3) 水に浸すと化学反応し、炭素によりマグネシウムを酸化させて電気を発生してLEDライトが点灯する。又水分を与える量やその間隔により、点灯時間に差が出る。
- (4) 点灯させそのままにすると、水分が無くなり消灯する。再度水分を与えると再度点灯するが点灯時間は短くなる。
- (5) LEDライト（直径5mm）は電圧2.5V～2.4V、電流0.1mA以上、17.5～22.8cdを使用している。
- (6) 発電部は電圧は6.4V以下、電流範囲0.1mA～20mAを発電する。
- (7) 電池容量は連続約1週間程度使用（毎日少量の水分補給をした場合）できる。
- (8) 動作環境は0℃から70℃とする。
- (9) 化学反応を利用しているので一度点灯させると連続点灯し、スイッチは付いていない。
- (10) 本製品は、避難時の足元の安全確保及び停電時の室内照明の代わりに使用できる。

## 付 帯 事 項

- 1 LEDの光を正視しないこと。
- 2 分解、加熱、充電はしないこと。
- 3 火中に投じないこと。又、火気の近くに置かないこと。
- 4 廃棄は、各自治体が指示するルールに従うが、プラスチック分類に該当する。

本推奨製品に関するお問い合わせ先

- ・一般財団法人日本消防設備安全センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館7階

TEL 03-3501-7910/Fax 03-3509-1194

- ・アクモホールディングス株式会社

〒332-0012 埼玉県川口市本町4-3-6 本町ハイツ213号室

TEL 048-229-0915/FAX 048-227-1465

HP <http://www.aqumo-holdings.com>